

開館30周年記念・川上澄生没後50年

◆ 特別企画展 ◆

川上澄生の全貌



前期 川上澄生《初夏の風》1926(大正15)年 木版多色刷 紙 ※展示期間:9月10日[土]-10月16日[日]



後期 川上澄生《蛮船入津(群像図)》1952(昭和27)年 木版墨刷 手彩色 紙

前期 2022.
9.10^土-11.27^日

後期 2023.
12.3^土-3.26^日

※前期と後期で展示作品が入り替わります。10月18日[火]と2023年1月11日[水]は一部展示替えのため休館します。

■会場: 鹿沼市立川上澄生美術館 2階展示室

■開館時間: 9:00~17:00(最終入館16:30)

■休館日: 月曜日(9月19日、10月10日、2023年1月9日は開館)、9月20日[火]、10月11日[火]、10月18日[火]、11月4日[金]、11月24日[木]、11月29日[火]~12月2日[金]、12月28日[水]~2023年1月4日[水]、1月10日[火]、1月11日[水]、2月7日[火]、2月24日[金]、3月22日[水]

■入館料: 一般300円(200円) / 高校・大学生200円(100円) / 小・中学生100円(50円)

※()内は20名以上の団体料金、東武沿線美術館連携事業割引料金、M割引金など

※毎週土曜日は小・中学生無料

※毎月第3日曜日は鹿沼市内の中学生以下の子どもと同伴のご家族は無料

※障がい者手帳の交付を受けている方とその介護者1名は無料

※10月8日[土]・10月9日[日]は鹿沼秋まつり、11月3日[木]は文化の日、2023年2月4日[土]は第22回鹿沼ジュニア版画大賞表彰式、3月11日[土]は第26回川上澄生美術館木版画大賞授賞式のため無料

■特別協力: 栃木県立美術館・宇都宮美術館



鹿沼市立川上澄生美術館

〒322-0031 栃木県鹿沼市陸町287-14
TEL.0289-62-8272 FAX.0289-62-8227
<https://kawakamisumio-bijutsukan.jp/>



新型コロナウイルス感染症の影響で、入館制限を設ける場合がございます。最新の状況はホームページでご確認いただくか、お電話でお問い合わせください。

前期 2022.9.10(土) - 11.27(日)

■ 展示構成：1 初期作品 / 2 風景 / 3 自画像 / 4 版画誌 / 5 デザイン



2

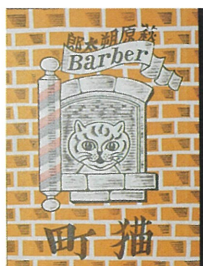
- 川上澄生《黒き猫》
1922(大正11)年頃
木版二色刷 紙 栃木県立美術館蔵
- 川上澄生《神橋》
1929(昭和4)年 木版多色刷 紙
- 川上澄生《自画像》
1921(大正10)年 水彩 紙 個人蔵
※当館初公開
- 『村の版画』VIII(通巻第8号)
1929(昭和4)年 中表紙:川上澄生
宇都宮美術館蔵
※会期中ページ替えをします
- 萩原朔太郎著『猫町』
1935(昭和10)年 装幀:川上澄生



3



4



5

川上澄生の全貌

◆ 特別企画展 ◆

開館30周年記念・川上澄生没後50年

鹿沼市立川上澄生美術館は1992(平成4)年9月に開館し、本年度30周年を迎えます。開館のきっかけは、木版画家・川上澄生の教え子で、鹿沼市出身の長谷川勝三郎が収集した2,000点に及ぶ膨大な作品・資料の提供によるものでした。

当館では、長谷川コレクションを基盤としながら、毎年継続して作品・資料の収集に努め、

令和3年度までに約3,000点を収集しました。それらは毎年、様々な切り口による企画展で紹介されており、これまでに開催した企画展の数は80本以上になります。また、近年は棟方志功や川西英、武井武雄、畦地梅太郎などの同時代の作家と併せて紹介することで、川上澄生作品の特徴を深く掘り下げる企画展を開催しています。

本展は、開館以来30年にわたる美術館活動の成果をもとに、没後50年を迎える川上澄生の画業を振り返る「全貌展」として、約200点の作品を前期・後期に分けて10のテーマで紹介するものです。この機会にぜひご覧ください。

後期 2022.12.3(土) - 2023.3.26(日)

■ 展示構成：1 南蛮 / 2 版画本・著作本 / 3 文明開化 / 4 静物 / 5 ガラス絵・焼絵・水彩など

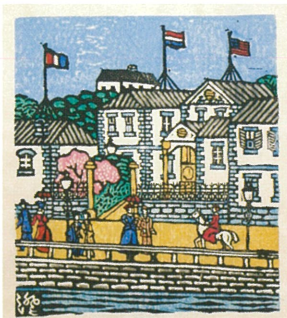
- 川上澄生《波圓み蛮船図D》
1969(昭和44)年 木版多色刷 紙
- 川上澄生『青髯』
1927(昭和2)年 和装本
- 川上澄生《横浜海岸通り》
1968(昭和43)年 木版多色刷 紙
- 川上澄生《絵ノ上ノ静物》
1926(大正15)年 木版多色刷 紙
- 川上澄生《紅毛人之図》
1935(昭和10)年 水彩 紙



6



7



8



9



10

特別展示

- 川上澄生の代表作《初夏の風》(1926年)は、棟方志功が版画の道を志すきっかけとなった作品です。その影響を受けた棟方志功の版画集『星座の花嫁』(1931年)の一部を前期展で特別展示します。
- 棟方志功が関わっていた版画誌『日本版画』第4集(1951年)に収録された《初夏の風》別バージョン(写真右)を前期展で当館初公開します。



川上澄生《初夏の風》
1951(昭和26)年頃
『日本版画』第4集(1951年)収録

関連イベント

① 企画展記念講演会

「川上澄生の総てを追って」
日時:9月24日[土] 13:30~15:00
会場:鹿沼市民情報センター5階 マルチメディアホール
講師:小林利延氏
(文芸芸術大学名誉教授・川上澄生美術館初代館長)
定員:50名 ※9月3日[土]9:00~美術館へ電話で申込。

② 館長と楽しむ作品鑑賞会

日時:9月10日[土]、12月3日[土] 14:00~14:30

③ 学芸員によるギャラリートーク

日時:11月5日[土]、2023年1月14日[土]
14:00~14:30

※②、③は2階展示室で開催。企画展チケットが必要です。

同時開催 1階展示ホール/入館無料

■ 川上澄生ゆかりの版画家 山高 登 回顧展
会期:9月10日[土] - 11月27日[日]

■ シードストーリーズ22_23 小さな版画展
会期:12月3日[土] - 2023年1月9日[月・祝]

割引制度

■ M割(ミュージアム割引)でまた行こう!

M割参加館の有料入館券(M割印押印あり)を持って、入館日から6か月以内に参加館に入館すると、料金割引を受けられます。参加館については栃木県立博物館または当館ウェブサイトをご覧ください。
※料金割引内容は参加館によって異なります。

■ 東武沿線美術館連携事業

下記的美術館で使用した入館券を美術館受付にご提示いただく、入館料が割引になります。ただし、同一館での使用は対象外となります。
※料金割引内容は参加館によって異なります。

協力館(五十音順)

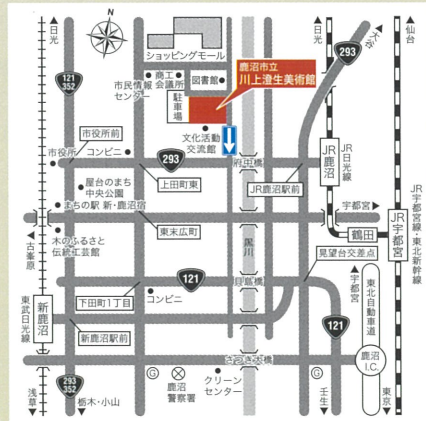
- ・足利市立美術館、草雲美術館
- ・鹿沼市立川上澄生美術館
- ・小杉放電記念日光美術館
- ・佐野市立吉澤記念美術館

■ 版画の年賀状展

会期:1月12日[木] - 2月5日[日]

■ 木版画大賞コレクション展

会期:2月8日[水] - 3月26日[日]



- JR日光線 鹿沼駅から徒歩20分
- 交通のご案内 東武日光線 新鹿沼駅から徒歩30分
- 東北自動車道 鹿沼 I.C.から約6km